

日本繊維機械学会 東海支部 協賛行事

2019 年度繊維学会東海支部講演会

日 時：2019年10月4日（金）13：00～16：30

会 場：ザ・コンダーハウス（The Conder House）6階

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦二丁目20番25号

アクセス：地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅3番出口より徒歩約2分

(<https://theconderhouse.com/access/>)

主 催：一般社団法人 繊維学会 東海支部

協 賛（予定）：高分子学会東海支部，日本接着学会中部支部，日本繊維機械学会東海支部，
日本繊維製品消費科学会東海支部，プラスチック成形加工学会東海支部

主 題：“未来の紙：セルロースナノファイバー”が世界を変える！？

セルロースナノファイバー（CNF）は、エネルギー小国ニッポンにおける森林資源の活用と日本発の先端素材であることから、産業応用への大きな期待を集めている。CNF×医療・自動車・エレクトロニクスの各分野でご活躍の3名の先生方にご講演をいただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム（講演1時間，質疑応答含む）

12：30－ 受付（6階）

13：00－13：15 支部長挨拶・施設紹介（旧名古屋銀行本店）

13：15－14：15 講演1

「セルロースナノファイバーを用いた組織再生足場材料の開発」

（国研）物質・材料研究機構 機能性材料研究拠点 西口 昭広 先生

セルロースナノファイバーは、低環境負荷型の新素材として近年注目を集めている。我々は、セルロースナノファイバーに生分解性を付与することで、機能性バイオマテリアルとして医療材料へ応用することを目指して研究を行っている。本発表では、組織再生足場材料としての機能について紹介する予定である。

14：15－15：15 講演2

「次世代繊維強化プラスチックを目指したCNF強化プラスチックの性能と開発状況」

（地独）京都市産業技術研究所 仙波 健 先生

CNFは、従来のプラスチック補強材であるガラス繊維，炭素繊維と比較し軽量，植物由来，生分解性，リサイクル性などの特徴を有します。本発表では、京都において開発してきたCNFとのポリマープロセッシング，得られた材料の性能，機能を紹介します。

15：30－16：30 講演3

「セルロースナノファイバーを用いた電子デバイス用部材の開発」

大阪大学産業科学研究所 能木 雅也 先生

ナノセルロースとは、幅4-15nmのとても微細な繊維であり、地球上すべての植物に含まれる無

尽蔵な天然資源です。本講演では、セルロースナノファイバー材料の開発・電子デバイス応用に向けた研究開発事例を紹介します。

なお、講演会終了後（16:45-18:30）、講師を囲んだ研究会（名刺交換）としてライトパーティー（会費：1,000円）もザ・コンダナーハウス3階にて予定しておりますので、多数ご参加をお待ちしております。

参加費：支部正会員・協賛団体会員：3,000円、非会員：4,000円（当日徴収）、
学生：無料（無料ですが、お申込み下さい）

参加申込期限：2019年9月24日（火）

申込方法：①ご氏名②ご所属③ご連絡先④会員種別⑤研究会参加の有無の各事項を明記し、メールタイトル【2019年度 繊維学会東海支部講演会】としてE-mailにて下記宛にお申込み下さい。E-mail以外でのお申し込みをご希望される方は、下記までお電話またはFAXでご連絡下さい。

問合せ&申込先：名古屋工業大学大学院 工学研究科生命・応用化学専攻 永田謙二

Tel & Fax: 052-735-5257, E-mail: nagata.keji@nitech.ac.jp